

## 皇居で「講書始の儀」 益川教授も傍聴

2009.1.9 10:48

年頭に天皇、皇后両陛下が学術分野の第一人者から講義を受けられる「講書始の儀」が9日午前、皇居・宮殿「松の間」で行われた。

皇太子さまを始め皇族方も傍聴された。ノーベル物理学賞を受賞した益川敏英京都産業大教授(68)も講義を傍聴した。

今回の進講者とテーマは、吉川忠夫京都大名誉教授(72)の「後漢、六朝時代における中国人の仏教受容」、伊丹敬之東京理科大教授(63)の「日本企業の人本主義システム」、入江正浩立教大教授(64)の「光に応答する分子」。

Copyright 2009 The Sankei Shimbun & Sankei Digital

© 2009 Microsoft | **Microsoft**



宮殿・松の間で行われた「講書始の儀」(入江正浩・立教大教授) = 9日午前11時3分(代表撮影)